

自治体SDGs推進評価・調査検討会からの講評

提案者（代表都市）	講評
佐賀県鹿島市	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に積極的で幅広い事業である。 ・洗練された提案である。 ・鹿島市における地域循環共生圏としての取組を発展させ、さらに太良町にまで広げようとするものであり（広域化）、趣旨に沿った提案であると思料する。 ・「鹿島モデル」の広域化の目標は明確であり、執行体制も評価できる。特に、「かしたらコンソーシアム」は期待できる。ただし、そのコンソーシアムを動かす人材面の確保・充実が今後の課題となると思料する。 ・6次産業の展開、産業集約化、脱炭素化について、市町連携の効果が得られることを期待する。 ・LEDを用いたカモの食害予防、ドローンを用いた海苔栽培の効率化などの事業実現のメカニズムについての発信を期待する。 ・リサイクル、カーボンオフセット等の具体的な取組の連携効果を期待する。 ・地域が連携し人が集まることが観光面で重要であるため、環有明海観光連合等を活用した連携の拡大が望まれる。 ・ロジックモデルについて、言及されていた点が評価できる。 ・住民の役割について、言及されていた点が評価できる。 ・民間企業との着実な事業連携が、重要であると思料する。 ・鹿島モデルに取り組む理由を、論理的に説明する必要がある。 ・鹿島モデルを支える事業体制、組織体制について具体的な説明が必要である。 ・今年度採択されたSDGs未来都市鹿島市モデルを自然環境が似た隣接自治体に拡大する取組であり、広域連携としての新規性には欠けると思料する。